

**製品名: CSHL1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21207**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:300
分子量	Calculated MW::Observed MW:24kD

**抗原情報**

遺伝子名	CSHL1;CSHP1;CSL
別名	CSHL1;CSHP1;CSL;Chorionic somatomammotropin hormone-like 1 ;Chorionic somatomammotropin-like;Lactogen-like;
遺伝子 ID	1444.0
SwissProt ID	Q14406
免疫原	ヒト CSHL1 の組み換えタンパク質

**背景**

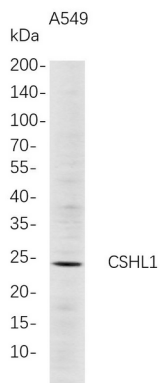
細胞局在: 分泌型。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、成長制御に重要な役割を果たす成長ホルモン / プロラクチン

ファミリーホルモンの一種である。この遺伝子は、他の4つの関連遺伝子とともに、17番染色体上の成長ホルモン遺伝子座に位置し、同じ転写方向で散在している。この配置は、一連の遺伝子重複によって進化したと考えられている。5つの遺伝子は非常に高い配列相同性を示すものの、それぞれ異なる組織で選択的に発現する。このファミリーメンバーは、当初は偽遺伝子と考えられていたが、胎盤絨毛で発現する。実際、選択的スプライシングは、転写産物の大部分が分泌タンパク質を発現できないことを示唆している。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが同定されている。[RefSeq提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



A549全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンを抗CSHL1ウサギモノクローナル抗体でプロットングした。抗体の検出には、HRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H + L)抗体を用いた。